

家庭学習の つぼ! 3か条



学習時間のめやす

15~30分

その

1

最後までやり終える! ~家族も一緒に根くらべ~

「宿題は最後までやること」を守らせましょう。最後までやったかどうかを必ず家族の目で点検しましょう。テレビやゲームも、時間のけじめをきちんと守らせましょう。

根負けせずに、ねばり強く働きかけることが大切です。

◇一人で学習の内容や方法を決めることはまだ無理です。家族の手助けが欠かせません。

◇「やったね」「よくできたね」まわりのほめ言葉が素晴らしい意欲を生み出します。

その

2

子どもにも家事を! ~高学年・中学生になっても~

家庭で、子どもにできる仕事をみつけてください。

家族の一員としての自覚が育つとともに、学習に必要な持続力、集中力、根気などが育ちます。こうした家事の分担は、学年が上がってもするべきです。

◇「鉛筆を正しくもつ」「明日の学習を準備する」「整理整頓をする」も、基本となる学習です。

その

3

子どもが見ているぞ! ~子は親のうしろ姿を見て育つ~

大人が、お手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。家族ぐるみでよりよい学習習慣づくりに努めることが大切です。読書はとても効果的です。

◇「早寝早起き」「しっかり朝食をとる」「朝の排便」「正しい姿勢で座る」などの基本的な生活習慣が身につくと、学習の習慣も身につきます。

◇いろいろなことに興味・関心を持ち、何でも知りたがります。



ワンポイントアドバイス

小学校

1・2年生

家庭学習

こんな内容・方法で

～家庭学習を始める前に～

- 学習前に、勉強する場所の整理整頓を。
- 学校からのプリント類を一括に確かめる。
- 今日の宿題を一括に確かめる。
- 鉛筆の正しい持ち方を教える。



宿題

全部できるようになれば、まず大丈夫！宿題をやり終える子どもにしましょう。家族のアドバイスが必要です。



日記

楽しかったことやうれしかったことを、少しでも素直に自分の言葉で書くようアドバイスしましょう。

国語

音読

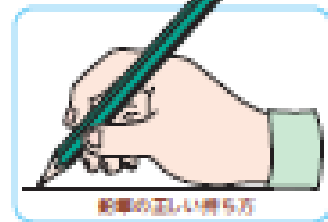
- 楽しんで、すらすら読めるように毎日練習しましょう。
- 句読点に気をつけて、大きな声ではっきりと読みましょう。

漢字

- 書き順に気をつけて、丁寧にゆっくり書きましょう。

読書

- 子どもにあった本をまわりにおきましょう。読み聞かせをするのもいいですね。



鉛筆の正しい持ち方

算数

計算

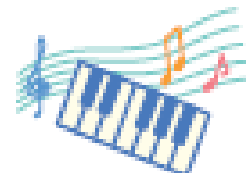
- 速さを問わずに、楽しみながら計算に慣れるようにしましょう。正しく計算ができるようになれば、少しずつスピードを上げて練習しましょう。
- まちがった問題は、必ずもう一度やり直す習慣をつけましょう。正しい計算手順が確実に身につくように、ときには、手順を唱えながら練習しましょう。

生活

- 休みの日には、山や川、動物園などに出かけ、本物の動物にふれましょう。家でも生き物を育ててみましょう。

音楽

- 鍵盤ハーモニカの練習をしましょう。



長い休みにはこんなことを！

ふだんできないことに、家族でじっくり取り組みたいものです。

たとえば

- ・絵日記を続ける。
- ・水にじゅうぶん浮く練習をする。
- ・図書館での読書を経験する。
- ・自分の街の自慢(自然、公園、施設など)を絵に描いたり、身の回りの材料で工作したりする。
- ・補助輪をはずして、自転車に乗る練習をするなど

我が家のばあい

「～できたか？」「～しなさい！」よりも親が時間を決めて本を読み始めると、子どもも私のそばで自然に宿題をするようになりました。

ちょっとひとこと

「地域の子どもの成長とわが子の育ちを見つめる」

この時期だからこそ、子どもと一緒に遊ぼう！今ならどこでもついてきてくれるし、休みの日が待ち遠しくなる。毎日の目配りは無理かもしれないけれど、子育てにかかわり、親の背中を見せておきたい。母親だけに任さず、「父親(おやじ)」は時に厳しく、時に優しく、すべての子どもたちの健やかな成長を見守ろう。